

## 第6章 地域との連携



# 1. インターナショナルセーフスクールへの取組

## (1) 目的

「インターナショナルセーフスクール（ISS）」とは、より安全な教育環境づくりに取り組む学校に与えられる国際認証である。

豊島区では、安全・安心な学校づくりの推進、児童の危険回避能力の育成や地域・保護者と連携した子どもの見守り体制等を充実させることを目的に、ISSの認証取得に取り組んでいる。

## (2) 概要・活動内容（一例）

### (ア) 地域対策委員会

学校、保護者、地域住民、警察署・消防署等関係諸機関、子どもスキップ、地域区民ひろば、セーフコミュニティ推進室・教育委員会などによる連携・協働のための組織。活動方針や活動内容の検討・評価等、ISSの具体的な活動を推進している。

### (イ) 児童・生徒の委員会活動

児童・生徒が主体的に「安全・安心な学校づくり」の課題を見出し、各委員会の活動内容に沿った対応策を全校児童・生徒へ呼びかけ、実践している。

### (ウ) 児童・生徒・PTAによる「安全マップ」づくり

各校の実態に応じて、授業や委員会活動、PTA活動の一環として校内や地域の「安全マップ」づくりに取り組んでいる。要注意個所を視覚化することにより、情報の共有と安全意識の向上が図られている。

### (エ) PTAによる地域安全パトロール

「安全マップ」等の情報をもとに、公園や公衆トイレなど死角となりやすい場所や交通量の多い場所などを定期的に見回り、事故や事件の未然防止に取り組んでいる。

### (オ) 警察署の指導による交通安全教室

交通事故が多発しやすい1年生の入学時期や2年生への進級時期を中心に警察署員の指導のもとに「交通安全教室」「親子道路安全歩行教室」を実施している。実際に学校の周辺を歩きながら、危険が多い場面を児童同士や親子で一つ一つ確認している。

### (カ) 警察署・PTA・交通少年団等の協力による自転車安全教室

児童が自転車に乗り始めることが多い3年生進級時期に、PTAの支援を受けて、警察署員や交通少年団指導者等による指導のもと、道路標識等の交通規則や自転車の安全運転・点検等、正しく安全に自転車に乗ることを学んでいる。

### (キ) 消防署・消防団による避難訓練・放水訓練

消防署の指導による火災・地震を想定した避難訓練や消防団の指導のもと、初期消火訓練を実施している。特に中学生はD級小型ポンプの操作法を習得し、放水訓練も実施するなど、地域の一員としての意識を高め、災害時に中心となって活動できるよう実践力を高めている。

### (ク) 区民ひろばとの交流

セーフコミュニティ活動の中心である区民ひろばとの交流活動を行っている。児童が学習した「安全・安心」についての学習発表や区民ひろば祭りでの活動を地域とともに行うなど、地域とのつながりを強める活動に力を入れている。

### (ケ) 地域との協働活動

「安全・安心まちづくり」パレードや地域防災訓練・避難所設置訓練等、学校と地域団体・行政が一体となった活動に取り組み、セーフコミュニティ活動の一環としてのインターナショナルセーフスクールの充実を図っている。

(コ) 消防署等による救急救命・AED 取扱訓練

高学年児童は、消防署等専門機関の指導を受けて、訓練用人形を使いながら救急救命訓練や AED 取扱訓練を行っている。

(サ) コロナ禍での新たな活動の展開

新型コロナウイルス感染症予防という「安全・安心」な学校づくりの新たな課題に対し、教職員・児童生徒・保護者・地域住民の協働・創意工夫による積極的な取組を行ってきた。この経験からの学びを生かし、以前行っていた活動にさらに創意・工夫を加えた、新たな視点で構成した活動の展開を進めるようになってきている。

**(3) 実績**

**【認証取得校一覧】**

校 名	取得年度	校 名	取得年度
1 朋有小学校	平成 24 年度(初認証取得) ※世界で 103 番目、日本で 3 番目 平成 27 年度(再認証取得) 平成 30 年度(再々認証取得) 令和 4 年度(4 回目の認証取得)	2 富士見台小学校	平成 27 年度(初認証取得) 平成 30 年度(再認証取得) 令和 4 年度(再々認証取得)
3 仰高小学校	平成 28 年度(初認証取得) 令和元年度(再認証取得) 令和 5 年度(再々認証取得予定)	4 池袋本町小学校	平成 28 年度(初認証取得) 令和元年度(再認証取得) 令和 5 年度(再々認証取得予定)
5 池袋第一小学校	平成 29 年度(初認証取得) 令和 3 年度(再認証取得)	6 池袋中学校	平成 29 年度(初認証取得) 令和 3 年度(再認証取得)
7 高南小学校	平成 30 年度(初認証取得) 令和 4 年度(再認証取得)	8 清和小学校	令和元年度(初認証取得) 令和 4 年度(再認証取得)
9 さくら小学校	令和 3 年度(初認証取得)	10 千川中学校	令和 3 年度(初認証取得)

**(4) 今後の取組予定・方向性**

豊島区が推進している「セーフコミュニティ」活動と連携し、安全・安心な学校づくりに向けてインターナショナルセーフスクールの認証取得を進めてきた。令和 3 年度には全 8 中学校ブロックで 1 校以上の認証取得校の配置を達成した。今年度は、各認証校の実践を小中連携教育協議会等で情報提供をしたり、各校の保健室来室データを教育委員会で集計・分析し、提供したりする等、I S S 活動のノウハウを生かした「安全・安心な学校づくり」の全校化を推進する。

また、I S S 活動で構築した学校と地域・関係機関・企業等との協働体制を基盤とし、I S S 認証取得校から順次コミュニティ・スクールへと移行していく。

**【中学校ブロックごとの認証取得状況】**

駒込中学校	巣鴨北中学校	西巣鴨中学校	池袋中学校(認)
仰高小学校(認) 駒込小学校	清和小学校(認) 西巣鴨小学校 豊成小学校 朝日小学校	巣鴨小学校 朋有小学校(認)	池袋第一小学校(認) 池袋本町小学校(認)
西池袋中学校	千登世橋中学校	千川中学校(認)	明豊中学校
池袋第三小学校 池袋小学校 富士見台小学校(認) 長崎小学校	南池袋小学校 高南小学校(認) 目白小学校	要小学校 高松小学校	千早小学校 さくら小学校(認) 椎名町小学校

認：国際認証取得校

## 2. コミュニティ・スクールの導入

### (1) 目的

これまで学校が育んできた信頼関係のもと、保護者・地域住民等が学校運営に参画することで、学校と保護者・地域住民等が一体となって、教育活動の改善や児童・生徒の健全育成に継続的に取り組む。

また、学校と保護者・地域住民等の連携・協働で実施する地域学校協働活動により、学校の教育活動の充実を目指すとともに、地域人材の有効活用や将来の地域の担い手の育成、学校を中心とした地域ネットワークの形成により、地域活性化を図る。

※コミュニティ・スクールとは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律 47 条の 6 に基づき学校運営協議会を設置した学校のこと。

### (2) 「としまの教育」の強みを生かしたコミュニティ・スクールの5つの特徴

#### (ア) 学校と保護者・地域住民等が一体となった、子供たちを育む体制づくり

これまでの信頼関係のもとに、保護者・地域住民等が学校運営に参画し、学校と一体となって子供たちを育む体制を構築する。

#### (イ) これまでの活動を生かしたコミュニティ・スクール

学校運営連絡協議会やインターナショナルセーフスクール（ISS）地域対策委員会を通じて、学校と保護者・地域住民等が育んできた信頼関係を生かしたコミュニティ・スクールを実現する。また、学校と保護者・地域住民等が協働で取り組み、学校運営に参画する類似点がある ISS 活動を内包して、コミュニティ・スクールの推進する。

#### (ウ) ビジョンの共有と持続可能なPDCA サイクル

学校と保護者・地域住民等が同じ目標に向かって活動するため、学校運営の基本方針を共有し、教育活動や地域学校協働活動、学校評価の実施などにより、持続可能なPDCA サイクルを構築する。

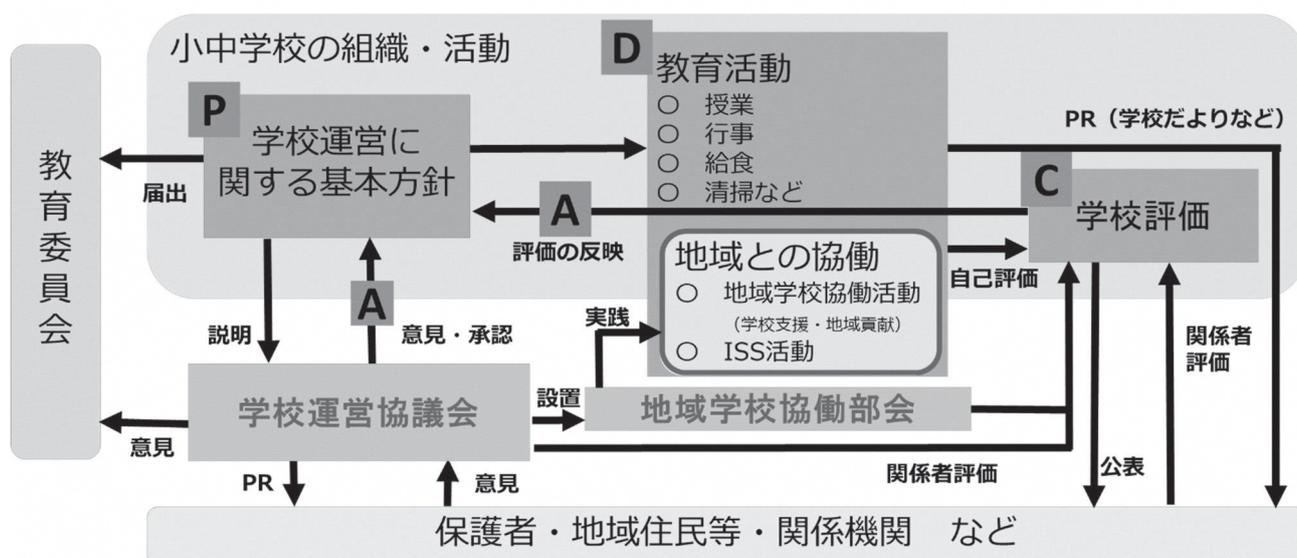
#### (エ) 学校と保護者・地域住民等の連携・協働による、双方向の地域学校協働活動

学校と保護者・地域住民等が連携・協働し、双方向による地域学校協働活動を推進する。

#### (オ) 将来の地域の担い手を育むコミュニティ・スクール

児童・生徒の発達段階に合わせて、地域学校協働活動の比重を「学校支援活動」から「地域貢献活動」へ移すことで、将来の地域の担い手を育み、学校を中心とした地域ネットワークの形成、地域活性化を図る。

### 【豊島区コミュニティ・スクールの組織体制とPDCA サイクル】



### (3) コミュニティ・スクールの魅力

#### (ア) 学校にとっての魅力

- ・地域の力や多様な人材の専門性を生かした学校運営等の実現
- ・子供に向き合う時間、質の高い授業づくりのための時間の確保
- ・ISSの取組による安全・安心な学校づくりの実現

#### (イ) 地域住民等にとっての魅力

- ・経験を生かすことで生きがいややりがいにつながる。
- ・学校を中心とした地域ネットワークが形成され、地域活性化につながる。
- ・将来の地域の担い手を育むことができる。

#### (ウ) 保護者にとっての魅力

- ・学校や地域に対する理解が深まる。
- ・地域の中で子どもたちが育てられているという安心感が高まる。
- ・保護者同士や地域の人々とのつながりが強まる。

#### (エ) 子どもにとっての魅力

- ・子どもたちの学びや体験活動が充実する。
- ・地域の担い手としての自覚が高まる。
- ・ISSの取組によって、安全・安心な学校生活を過ごすことができる。
- ・地域に見守られている安心感が高まり、地域愛が育まれる。

### (4) コミュニティ・スクールの機能

#### (ア) 熟議

子供たちがどのような課題を抱えているのかという実態を共有するとともに、地域でどのような子供を育てたいのか、何を実現したいのかという目標・ビジョンを共有するために「熟議（熟慮と議論）」を重ねることが大切である。

- i) 多くの当事者（学校と保護者・地域住民等）が集まって
- ii) 課題について学習・熟慮し、議論をすることにより
- iii) 互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに
- iv) それぞれの役割に応じた解決策が洗練され
- v) 個々人が納得して自分の役割を果たすようになる

#### (イ) 協働

「熟議」の実施を通して、学校と保護者・地域住民等の信頼関係を構築し、学校運営に保護者・地域住民等が「参画」し、共通の目標に向けて「協働」して活動していくことが重要である。

#### (ウ) マネジメント

中核となる学校は、校長のリーダーシップのもと、目指すべきビジョンの達成に向かって学校内の組織運営を管理することにとどまらず、保護者・地域住民等との関係を構築し、地域人材や資源等を生かした学校運営を行っていく必要がある。

### (5) コミュニティ・スクールとインターナショナルセーフスクール（ISS）活動

- コミュニティ・スクール導入校はより安全・安心な学校運営のため、ISS活動（児童・生徒の主体的な活動、科学的アプローチによる体と心のケガの予防、地域との協働による安全・安心活動、PDCAサイクルの構築）を内包して、コミュニティ・スクール活動に取り組む。
- 学校運営協議会において、ISS活動の年間予定、活動報告等を行い、ISS活動のPDCAサイクルの構築を図る。

### (6) コミュニティ・スクール導入校の拡大

豊島区コミュニティ・スクール事業検討委員会における検討を経て、「豊島区コミュニティ・スクール推進ガイドライン」を作成した。今後は、インターナショナルセーフスクール認証取得校から順次、コミュニティ・スクールを導入していく。

### (7)実績（令和5年4月1日現在）

導入校：千登世橋中学校、池袋本町小学校、仰高小学校、池袋中学校、高南小学校

導入準備校：清和小学校、朋有小学校、さくら小学校

### 3. PTA 活動支援

#### (1) 概要

小・中PTA連合会と連携して各種研修会や事業等を実施し、PTA活動の円滑な運営と子供たちの健全育成を図る。教育委員会の立場としては、単位PTA（各学校のPTA）への支援ではなく、連合体への支援が中心となる。

#### (2) 実績

□ 令和4年度活動実績

開催日	事業名	場所	主な内容
4月16日(土)	小中PTA会長研修会	豊島区役所 本庁舎5階 507～510会議室	・研修「コロナ以前とコロナ禍でのPTA活動のあり方と学校・保護者とのコミュニケーションの取り方」 ・情報交換
6月18日(土)	中P連講演会(午前)	朋有小学校 体育館	「今知りたい！親子のコミュニケーション～思春期の子供と向き合うには～」 青山こころの相談室 代表 滝口 のぞみ氏 参加者 68名
	中P連役員分科会(午後)	朋有小学校	活動報告、意見交換
	小P連合同ブロック会	朋有小学校	活動報告、意見交換
7月16日(土)	中P連「親子スポーツ大会」	ハイパーレーン	7校参加
9月23日(金・祝)	中P連「親善バレーボール大会」	豊島体育館	7校参加
10月29日(土) 12月17日(土)	小P連「親善バレーボール中央大会」	豊島体育館 雑司が谷体育館	18校参加
11月6日(日)	小P連「親子ソフトボール大会」	池袋中学校・ 明豊中学校	14校参加
11月19日(土)	第59回音楽のつどい	豊島区立 芸術文化劇場	13校参加
1月25日(水)	中P連と教育委員会事務局との懇談会	レクチャールーム	不登校について

## 4. 家庭教育推進員事業

### (1) 概要

昭和54年度から続く豊島区独自の事業である。豊島区立小学校PTA会長の推薦を受けた「家庭教育推進員」が年6回ゼミ形式でテーマに沿って学習を進める。子育て世代同士が継続して学びあい、その成果を同じ立場の方々に伝え、家庭や地域での教育力を高めることが目的である。また、「かすい」という愛称で親しまれている。

東京都家庭教育支援基盤形成事業（家庭教育支援のための地域人材養成の取組）として実施している。

### (2) 実績

令和4年度は3年ぶりの対面での開催となった。「SDGsを身近なものに」をテーマに、立教大学経済学部の郭洋春（かくやんちゅん）教授を講師として、9月から12月まで6回の日程で活動した。

今年度の目的は、豊島区が取組むSDGsについて学び、自分でできることを考え、地域課題を解決する行動を起こすことである。

はじめにSDGsについて学んだ後、グループワークを中心とした話し合い学習を進め、学習発表会に向けた展示物やゲーム、配布用資料等の作成を行った。

学習発表会は、初めて「ファーマーズマーケット」にて行い、家庭教育推進員の学習の成果を来場者に向け発表した。当日の展示物に感心した学校長や副校長の申し入れにより、学習発表会の展示物が学校で掲示されるなど、「かすい」の学びが広がっていった。

#### □ 学習発表会 各グループの取組状況

小学校名	テーマ	小学校名	テーマ
1 仰高・駒込	食品ロス削減 ～私たちにできること～	2 西巢鴨・朝日・池袋第一	おうちで防災
3 巢鴨・清和	気になるイベントを探してみよう	4 朋有・目白・要・長崎	知っているようで知らない ペットボトルマイスターになろう！
5 南池袋・高南	ジェンダーを考えよう	6 椎名町・富士見台・さくら	豊島区の身近なSDGsの取組を紹介

#### □ 過去の実績状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
テーマ	つながりで広げるマチのワ		つながりで広げるマチのワ (オンライン開催)		SDGsを身近なものに
講師	大正大学人間学部教育人間学科講師 齋藤 知明 氏				立教大学経済学部 教授 郭洋春 氏

## 5. 家庭教育講座

### (1) 概要

区立の小・中学校 PTA、区立幼稚園保護者が子どもや家庭を取り巻く様々な課題等について講座を開催し、家庭教育の推進を図るとともに PTA 活動や地域活動の活性化につなげる。

講座は PTA 等が自主的に企画・運営し、区が 25,000 円を上限として補助金を交付し講座開催を支援する。

### (2) 実績

令和4年度はオンラインに加え、対面開催に戻す幼稚園、小・中学校も増えてきた。家庭教育講座を開催した数も昨年度から増えている。

#### □ 令和4年度の開催状況

	学校名	タイトル (※)	講師	参加人数
1	駒込小学校	「親子で学ぼう護身術」	トライフォース柔術アカデミー ゼネラルマネージャー 新明 佑介	48
2	清和小学校	「親子で姿勢を見直そう」	美ボディメイク専門ジム BLOOM 代表 本屋敷 裕太	29
3	池袋小学校	「親子で楽しむアート体験！ 手作り T シャツワークショップ」	絵画教室ルカノーズ 講師 深山綾子	45
4	南池袋小学校	「親子で楽しく学ぶ発想力講座」 ～イロのフシギを探求しよう～ ☆	金沢工業大学 虎ノ門大学院 教授 三谷宏治	40
5	高南小学校	「生き抜く力をつけるほめ方・叱り方」 ★	はなまる学習会 代表 高濱正伸	250
6	目白小学校	「キャリア教育について」 ★	ライフエスティーム研究所 代表 福所ののぶ	120
7	池袋中学校	「親子で学ぶお金のはなし」 ★	関東財務局 東京財務事務所職員	40
8	明豊中学校	「わくわくエンジン@講演会『わくわくエンジン』って何？」 ★	NPO 法人キーパーソン 21 田中かおり	22
9	池袋幼稚園	「秋の自然ウォッチング」	プロ・ナチュラリスト 佐々木 洋	58
合計人数				652

(※) ★は、オンラインで実施、☆はオンラインと対面で実施

#### □ 過去5年間の講座開催の状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開催学校数	19	16	1 (1)	6 (5)	9 (5)
参加人数	1267	1081	879	303	652

(注1) ( ) 内の数はオンライン開催数 (内数)

## 6. 学校・通学路の安全事業

### (1) 概要

園児・児童・生徒が安全安心な学校生活を過ごすことができるよう、通学路及び学校内の防犯カメラの設置、登下校時の安全誘導、学校施設の警備・点検等、日常的な安全体制を確立する。

### (2) 実績

#### ア スクールガード養成講習会

タブレットパソコンを利用したオンライン配信で実施

開催日：令和5年2月22日（水） 約1時間

#### イ 通学路合同点検

児童の通学路上の安全確保を図るため、学校・教育委員会・PTA・警察・町会等の関係者が合同で点検を実施。（令和4年度実績）

開催日：令和4年11月8日（火）～令和4年11月29日（火）

実施学校：巣鴨小、朝日小、池袋第一小、池袋第三小、南池袋小、  
千早小、さくら小

参加者：教育委員会、学校、警察、PTA、町会、区関係部署、  
民生委員児童委員など

参加人数：72名（延べ数）

#### ウ 区立学校施設のブロック塀等対策

平成30年6月の大阪北部地震において、小学校のブロック塀倒壊により児童が死亡する事故が発生した。これを受け、区ではただちに区立小・中学校及び幼稚園のブロック塀等緊急点検を実施し、点検結果に応じたブロック塀撤去等の対策を順次進めている。令和2年度は小学校2校及び中学校1校のブロック塀対策を実施した。緊急性の高いブロック塀対策（18施設49か所）は令和2年度内に対策を完了している。

なお、校舎等の耐震補強工事については、「豊島区立小・中学校の適正化第一次整備計画」を踏まえ、年次計画により順次実施し、平成20年度で完了している。

エ こども 110 番の家

募集方法：各小学校区単位で P T A が地域を回り協力を依頼。

プレート配付：区がプレートを作成し、P T A を通じて登録者へ配付。

保険加入：区が一括加入

登録件数：約 1,200 件（令和 5 年 3 月末現在）

登録情報：区ホームページ「としま安全・安心地図情報システム」に掲載。

- ・スクールガード… P T A や地域住民の方々による通学路の巡回パトロールや危険箇所の監視  
など子供たちを見守る学校安全ボランティア活動
- ・こども 110 番の家…子供たちが危険に遭遇したり、困りごとがあるときに安心して  
立ち寄ることのできる民間協力の拠点

オ としま学校安全安心メールの運用

登録件数：15,279 件（令和 5 年 8 月末現在）

カ 防犯ブザーの配付

区内在住の新 1 年生を対象に防犯ブザーを配付する。

購入数：1,750 個

キ 小学校入退室管理システム

小学校 1～3 年生が校門を通過すると保護者が登録しているメールアドレスに送信される。  
（令和 3 年度から希望する 4～6 年生も保護者負担により利用可能とした）

ク 小学校児童通学案内等業務

児童の登下校時に指導員を配置し、見守り活動を補完するとともに児童の安全を確保する。

配置箇所数：77 か所

ケ 通学路表示（文表示）の設置

各小学校の通学路の電柱に、注意喚起として通学路の表示を設置し、児童の安全確保を行っている。

設置個所数：約 990 か所

コ 学校防犯カメラの更新

校門等に設置している防犯カメラを更新し、園児・児童・生徒等の安全・安心を確保する。

□ 学校防犯カメラの設置状況

設置年度	幼稚園(各園2台)	小学校(各校4台)	中学校(各校4台)	合計
平成24年			西池袋※	1校
平成26年		目白※		1校
平成27年	西巢鴨・池袋・ 南長崎	朋有・南池袋・要・富士見台・ 千早・高松・さくら		10校(園)
平成28年		仰高・巢鴨・西巢鴨・ 豊成・池袋・長崎・椎名町 池袋第三※ 池袋本町※	池袋※	10校
平成29年		駒込・清和・朝日・ 高南		4校
平成30年			駒込・西巢鴨・ 千登世橋・千川・明豊	5校
令和元年			巢鴨北※	1校
令和4年		池袋第一※		1校

※改築時に設置

サ 通学路防犯カメラの設置

小学校の通学路に防犯カメラを設置(1校あたり5台)し、児童の安全・安心を確保する。

□ 通学路防犯カメラの設置状況

設置年度	小学校(1校あたり5台)	合計(校)
平成27年	朋有・南池袋・要・富士見台・千早・高松 さくら	7
平成28年	仰高・巢鴨・西巢鴨・豊成・池袋第一 池袋本町・池袋第三・池袋・長崎・椎名町	10
平成29年	駒込・清和・朝日・高南・目白	5
令和元年※	巢鴨・清和・朝日・池袋第三・池袋・南池袋 目白・椎名町	8
令和2年※	仰高・西巢鴨・朋有・要・富士見台・千早 さくら	7
令和3年※	駒込・豊成・池袋第一・池袋本町・高南・長崎 高松	7

※新たに東京都の補助金が設けられたため、1校あたり5台ずつ増設